1　栽培環境が支える省力･高生産･高品質栽培技術

環境園芸学部 環境園芸学科

講座要旨

温室，ビニールハウスによって栽培に好適な環境を作り，時期を選ばずに高品質の生産物を多収することが第一の目的である．そのために作物それぞれの生産にもっともよい環境条件を明らかにし，その環境を作り上げることである．

その中で施設作物のおもな栽培環境条件である地上部の温度，光，湿度，炭酸ガス，空気流動，また，地下部の土耕では地温水分，通気土壌溶液や肥料成分，さらに養液栽培では培地の濃度，組成，pH，溶存酸素などがあり，これらについて総合的に環境制御することを学ぶ．さらに，温室およびハウスの構造と被覆資材を知る．

履　歴

昭和４９年３月　南九州大学園芸学部園芸学科卒業
昭和５０年　５月　南九州大学園芸学部助手
昭和５８年　４月　南九州大学園芸学部講師
平成　８年　４月　南九州大学園芸学部助教授
平成２３年３月　熊本県立大学環境共生学研究科　博士後期課程環境共生学専攻卒業
平成２３年４月　南九州大学環境園芸学部教授

南九州大学担当科目

蔬菜園芸総論，蔬菜園芸各論，施設園芸学，環境園芸実験実習(分担)，園芸生産環境専門実習(分担)，蔬菜果樹専門実習，コンピュータ演習